

令和4年2月9日
(2022年)

保護者の皆様

吹田市立吹田第三小学校
校長 桂樹 祐治

学校教育自己診断の集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。さて、12月に保護者の皆様のご協力を得まして、学校教育自己診断のアンケートを実施することができましたことを心よりお礼申し上げます。ここに「学校教育自己診断」の集計結果がでましたので報告申し上げます。今回の結果は、今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。ここでは結果が顕著な項目についてご報告させていただきます。

児童の集計結果について**〈1〉「学習面において」**

主体的で対話的な深い学びの実現に向けて、本校では「見方・考え方を働かせて、自分の思いや考え方を伝えよう。～主体的・対話的で深い学びをめざして～」をテーマに研究授業、研究会を重ね「わかる授業」「楽しい授業」に努めました。「授業はわかりやすく楽しい」という項目では、69%の児童が「はい」7%が「いいえ」と回答し、高学年の肯定的回答率が9%増加しています。これは、ICT活用による視覚支援に加え、今年度から導入した高学年での専科制（担任の授業交換）の効果ができていると考えています。「授業中や話し合いで手を挙げて発表したり話したりしやすい」という項目では58%の児童が「はい」、18%が「いいえ」と回答しています。昨年に比べると、肯定的回答率が低学年で減少しています。これらの点を、しっかりと受け止め、今後も、一人一台のタブレットを活用し、研修を重ね、子どもの思いに寄り添い、一人ひとりの子どもに応じた指導と授業改善を図って参ります。また、「学校の宿題はいつもしますか」の項目で、85%の児童が「はい」と回答しています。昨年度から自宅学習に取り組む機会が増え、自宅学習の定着や家庭の協力の成果だと考えています。家庭学習充実に向け、今後も一層、学力向上をめざしてまいります。「命の大切さや、思いやりについて学習することがある」という項目では、84%の児童が「はい」と回答しており前年より肯定的回答率が5%増加しています。道徳の学習やトリプルチェンジのいじめ予防プログラム授業の効果ができていると考えており、引き続き自分も相手も大切に育てる子どもの育成をめざし、人権教育・道徳教育に取り組んで参ります。

〈2〉「学校生活において」

「学校に行くのが楽しいですか」という設問に「はい」と答えた児童は、昨年に比べあまり変化はありませんが、高学年では6%増えています。昨年度に比べて行事や取り組みが増えてきたことにより子どもたち自身、学校生活が充実していると感じている様子です。ところが、低学年では4%減少しているため、子どもたちの変異を見守り、様々な子どもたちが充実感、達成感をもつことができる取り組み、授業づくりを進めてまいります。また、「先生は、自分が努力したことを認めてくれますか」の設問では、昨年に比べ6%増加しています。特に高学年では10%増加しており、複数の目で子どもたちを見守っている成果がでていると考えております。今後も複数体制を構築し、丁寧に取り組んで参ります。

〈3〉「家庭生活において」

「7時までに起きていますか」という設問に対して、55%が起きているという実態が分かりました。昨年よりは増加していますが、低学年では7%減少しております。「毎朝ごはんを食べていますか」の設問では、91%が肯定的な回答をしており、昨年より5%増加しています。生活習慣や生活のリズムについては、高学年では家庭科、保健の授業、低学年では、生活科の授業の中で学習しますが、家庭との連携が不可欠です。子どもたちに基本的な生活習慣をつけるため、ご家庭でのご協力を引き続きお願いします。

保護者の集計結果について

〈1〉「学校運営に関すること」

「学校は保護者が授業を参観する機会をよく設けている」の項目では、84%が肯定的な回答をしてくださいました。感染症拡大の影響から行事自体の中止や制限をかけての実施に至った影響があったと考えております。「学校は、保護者や地域の人々と話をする機会を多く持っている」の項目では肯定的回答が41%にとどまっております。懇談の機会が少なかったことや地域行事自体が中止となったことの影響が大きいと考えております。今後、新しい生活様式の下、学校行事や懇談等で保護者の皆様とつながっていきたいと考えています。「学校は感染症予防に努めている」の項目では90%の肯定的回答をいただいております。ご家庭のご協力に感謝いたします。また、「学校が保護者に出す文書や事務連絡などはわかりやすい」の項目では78%が肯定的な回答をくださいましたが、昨年より6%減少しております。感染症予防を徹底するため多くの文章を発出したこと、また一つの行事に対して例年と違うために何度も文章を出したことにより、わかりにくくなったものと考えております。状況の変化に伴いお知らせすることが複雑になっておりますが、簡潔にお知らせできるよう心がけて参ります。

〈2〉「保護者ご自身に関すること」

今年度は、手紙やメールで知らせすることが多く、変更することも多々ございました。その中で、「メール配信を気にかけて見ている。」の項目では88%の保護者が気にかけてくださっていることに感謝申し上げます。しかし、学校ホームページはあまり見ていただけていない結果が出ておりますので、メールやホームページを活用し、情報発信をして参ります。

〈3〉「教育活動に関すること」

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」という項目に対しては87%の肯定的回答をいただきました。今年度は子ども達に、我慢を強いる場面が多々ある中、学校に来るのを楽しみにしていると感じていただいていることをしっかりと受け止め、子ども達に向き合っていきたいと思っております。また、楽しみでないお子様に対しても、一人ひとりのがんばりや、良さを認め、安心して過ごせる学校生活を作っていきたいと考えております。「学校は学力向上の取組を積極的に行っている」という項目に対しては、58%の肯定的回答に留まりました。これらの点を、しっかりと受け止め、今後も、研修を重ね、子どもの思いに寄り添い、一人ひとりの子どもに応じた指導と授業改善を図って参ります。「先生は、子どものがんばりを認めてくれている」「先生は、子どものことについての相談に適切に対応している」「先生は、子どものまちがった行動には厳しく指導している」の項目に対しては肯定的回答率が昨年より増加しております。さらに「わからない」と回答された割合がともに減少しております。これは学校での様子や学習についてご家庭でお子様と会話いただいていることで伝わっているのではないかと考えております。教職員はさらに子どもたちのため適切な指導に努めます。また、ご家庭におかれましても、引き続き学校からの文書、返却されたテスト・学習ノートの点検など、ご確認いただきながら、お子様と会話いただきますようお願いいたします。

〈4〉「自由記述欄」

自由記述欄による「学校をよくするためのご提案」には、様々な意見がありました。紙面の都合でご意見の全てを紹介することはできませんが、内容としましては次のようになります。

- ・児童への指導に関すること
- ・学校行事に関すること
- ・人とのつながりに関すること（教員・子・保護者）
- ・教室環境について
- ・放課後学習教室について
- ・性教育、男女共同参画について
- ・健康安全について
- ・少人数学級の実施について
- ・学校施設面に関すること
- ・運動の機会について
- ・あゆみについて
- ・学校と家庭との連絡について
- ・食育について
- ・タブレットの活用について
- ・クラスだよりについて
- ・学習環境について等

一つひとつのご提案に対しましては、全教職員が真摯な気持ちで受け止めさせていただきます。また、そのご提案についてしっかりと考え、そして、本校の教育活動がよりよいものになるよう、教職員一丸となって努力してまいりたいと考えております。

今回、保護者の皆様からお寄せいただきました評価結果、子どもたちの声や姿を受け止め、学校・家庭・地域のつながりを大切に、安心して学べる学校、よりよい学校作りへと生かしてまいります。これからも、本校教育活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。